

早岐警察署協議会第2回会議議事概要

日 時	令和5年4月27日(木) 13時30分～15時00分
場 所	早岐警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 矢野会長 市瀬委員 江崎委員 北崎委員 増本委員 中島委員 松本委員</p> <p>2 警察署 緒方署長 松竹谷警務課長 原田生活安全課長 松山交通課長 園田地域課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について説明があった。</p> <p>(1) 通学路における安全の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現場道路の確認を実施 ○ 今後地元自治体と連携し対応予定 <p>(2) 警察官の市民応接について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 署員に対し教養を実施 ○ 今後より一層市民の立場に立った対応に努める <p>(3) 雪害時の立ち往生対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雪害が予想される場合、早期に交通規制等に努める ○ スノータイヤやチェーンを過信せず、気象情報をチェックし危険に近寄らない運転に努めて欲しい <p>2 前回諮問テーマの答申に対する推進状況について 署長から、前回協議会における諮問テーマ「早岐警察署における認知症高齢者対策について」への答申に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 認知症高齢者による徘徊事故等の防止</p> <p>ア 関係機関の連携強化による地域の見守り体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接の警察署はもちろん、佐世保市役所等と日頃から情報交換等を行い、取扱いの際は家族だけでなく関係機関へ連絡等を行い、事件事故から守る活動を行う。 <p>イ GPSなどの活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察においては、認知症高齢者に対するGPSの貸出し等を行っていないことから関係機関や民間業者等に依頼するとともに、家族に対してはGPS機能を有するスマートフォンの携帯なども推奨している。 <p>(2) 認知症の疑いがある高齢運転者の交通対策</p> <p>ア 運転免許証の早期返納と返納者が不便にならないための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運転免許証を自主返納した人には「運転経歴証明書」という顔写真付きの身分証明書を発行しており、佐世保市内でもタクシー、バスなどの料金減額サービスが受けられることから、詳しくは県警のホームページで確認していただきたい。 <p>イ 免許証の年齢による線引き以外の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加齢などによる身体機能の低下を感じる方、その家族など、自動車等の運転に不安を感じている方の相談窓口として、安全運転相談ダイヤルを開設しているので活用して欲しい。 <p>ウ サポートカーの利用推進対策 令和4年5月の道交法改正により、サポートカー限定免許が</p>

新たに創設されたことから、サポートカーの推進について各種
会合などで広報を行っている。

(3) その他

ア 認知症の診断を受けていないが、車の事故の状況や運転技術
低下から通常の運転ができていないと認められる際の通報先の
設置及び広報

上記回答と重複するため省略

イ 認知症高齢者に対するニセ電話詐欺被害防止対策

高齢者本人だけではなく、認知症高齢者のケア等を行う介護
施設等の職員に対してもニセ電話詐欺被害防止の講話を実施す
るとともに、巡回連絡を通して、家族等への被害防止方
策等を行っている。

3 令和5年1月から令和5年3月までの業務推進状況について
署長から、次のとおり説明があった。

(1) 生活安全課関係

総合的なニセ電話詐欺被害の防止対策の推進

○ 巡回連絡、防犯講話などあらゆる警察活動を通じた分かり
やすい防犯指導の推進

○ 動画等のツールを活用した広報啓発活動の推進

○ 金融機関やコンビニエンスストア等の民間団体と官民一体
となった被害防止対策の推進

(2) 地域課関係

ア 制服を見せる効果的な街頭活動の推進

○ 犯罪・事故を未然に防止するための警ら活動の推進

○ 通学路等における警戒活動の推進

イ 110番通報の適切な利用の促進

○ 街頭キャンペーンの実施

○ 110番適正利用の広報

(3) 刑事課関係

ア 窃盗事件の捜査強化

○ 住民が身近に不安を感じる住居対象の侵入窃盗事件や万引
き、色情ねらい、車上ねらいなどの非侵入窃盗事件の検挙推
進

○ 防犯カメラの精査や聞き込み、科学捜査の活用など、基礎
捜査の徹底による検挙活動の推進

イ ニセ電話詐欺事件の捜査強化と被害拡大の防止

○ 発生事件に対する追跡捜査の徹底

○ 犯行ツール対策の推進

(4) 交通課関係

ア 反射材の着用普及推進

○ ラウンドゴルフ場へ赴き反射材及びタスキを配布

○ マックスバリュ早岐店及びエレナ大塔店駐車場においてキ
ャンペーンを実施

○ 交通事故を起こした管内の高齢者宅を訪問し反射材を配布

○ 運転免許証の自主返納者に対し反射材タスキを配布

イ 安全横断「手のひら運動」の推進

○ ポリテクセンター佐世保入所者及び職員に対する交通安全
講話の実施

○ エレナの管理職研修会安全運転講習を実施

(5) 警備課関係

国際テロ対策の継続推進

ホテル・レンタカー業者や爆発物原料販売店に対する管理者
対策の推進

4 令和5年4月から令和5年6月までの業務推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

(1) 生活安全課関係

通学路等における子供の安全確保のための対策の推進

- ア 「見守り活動強化の日」の通学路警戒活動の実施
- イ 児童を対象とした防犯教室等の開催
- ウ 不審者情報等の迅速的確な提供

(2) 地域課関係

ア 巡回連絡による管内実態把握の推進

- 未把握世帯、未面接世帯の解消
- 巡回連絡を通じた防犯指導及び各種情報収集

イ 春の行楽期における雑踏事故の防止

- イベント主催者との連絡と指導
- 雑踏警戒体制の確立
- 雑踏事故防止の広報活動

(3) 刑事課関係

ア 窃盗事件の捜査強化

- 住民が身近に不安を感じる住居対象の侵入窃盗事件、住居侵入事件や、万引き、色情ねらい、車上ねらいなどの非侵入窃盗事件の検挙推進
- 防犯カメラの精査や聞き込み、科学捜査の活用など、基礎捜査の徹底による検挙活動の推進

イ ニセ電話詐欺事件の捜査強化と被害拡大の防止

- 発生事件に対する追跡捜査の徹底
- 犯行ツール対策の推進

(4) 交通課関係

新入学期の交通事故防止対策

- ア 新入学生を中心とした交通安全教育の推進
- イ 通学路における街頭活動の強化

(5) 警備課関係

ア 国際テロ対策の継続推進

ホテル・レンタカーや爆発物原料販売店に対する管理者対策の推進

イ 居住外国人の実態把握

外国人技能実習生雇用企業（事業者）、大学等に対する管理者対策の推進

5 諮問テーマに対する答申について

署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申があった。

(1) 諮問テーマ

優秀な人材確保のための採用活動方策

(2) 協議会からの答申状況

会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。

◎ 魅力ある警察の体現

ア 採用者の興味を引く警察業務のアピール活動の推進

- 5年後10年後を見据えた採用活動の実施
- 警察官という仕事のやりがいアピール
- SNSやローカルテレビなどを利用した警察業務説明

イ 優秀な人材を育てるための活動の推進

- 試験における人間性を重視した採用
- 離職者からの意見を参考した教育や業務の見直し

1 提出した要望の継続報告について

協議会の席上において前回の意見要望に対する警察の対応状況について説明を受けるが、解決していない事案については継続して対

提出意見	<p>応するとともに、その結果を継続して報告して欲しい。</p> <p>2 より伝わる広報について</p> <p>地域における事件や事故の発生状況など予防のためにも早めに知りたいが、あまり警察から発信されていない。</p> <p>もしそのような即報をしているのであれば、回覧板だけではなく、有線放送や防災無線など、より住民に伝わりやすい方法を検討して欲しい。</p>
------	---